



請願第 3 号



政府・国会に核兵器禁止条約の署名・批准を要請する書採択を求める請願

2018年8月 30日

かすみがうら市議会  
議長 中根 光男 様

請願者 代表

[Redacted]



かすみがうら平和の会 会長  
立花 和雄



ほか2団体

[Redacted]

新日本婦人の会

かすみがうら支部支部長

佐藤 みゆき



[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

かすみがうら9条の会代表

石井 ヒロ江



[Redacted]

紹介議員 佐藤文雄



<請願趣旨>

2017年7月7日に国連総会で122カ国の賛成で採択された「核兵器の開発、実験、製造、備蓄、移譲、使用及び威嚇としての使用の禁止ならびにその廃絶に関する条約」に、日本政府が速やかに署名し、国会で批准することを要請する書を貴議会が採択されることを求めます。

<請願理由>

1. 本市は「非核脱原発平和都市宣言」で「平和な世界の実現は、すべての人々の共通の願いです。今なお、地球上では悲慘な争いがあとをたたず、加えて核兵器の存在は、世界の平和に深刻な脅威をもたらしています。」「平和を願う地球上の人々と手を携え、世界の恒久平和を希求し、ここに『非核脱原発平和都市』を宣言します。」としています。この立場からすれば、世界122もの国・地域が賛同し、既に10カ国が批准している当条約を、世界で唯一の戦争被爆国である我が国が率先して調印・批准することを要請することは至極当然のことと思います。
2. これまで、自らの辛い体験を広めることで、世界の人々に「核兵器廃絶」を訴えてきたヒバクシャの方々は、既に80歳を超えられています。「核兵器のない地球」を願いながら亡くなられた方々も多くいらっしゃいます。これらの思いを形にすることは、私たちの使命ではないかと思えます。

<要請書案>

次頁に記します。

<要請書案>

平成30年 月 日

内閣総理大臣 安倍 晋三 様

衆議院議長 大島 理森 様

参議院議長 伊達 忠一 様

### 要 請 書 (案)

本市は平成25年3月28日、下記「非核脱原発平和都市宣言」を採択しました。この立場から、政府と国会におかれましては、世界で唯一の戦争被爆国であることに鑑み、速やかに「核兵器の開発、実験、製造、備蓄、移譲、使用及び威嚇としての使用の禁止ならびにその廃絶に関する条約」に署名し、批准されることを要請します。

#### ○非核脱原発平和都市宣言

平成25年3月28日

告示第13号

平和な世界の実現は、すべての人々の共通の願いです。

今なお、地球上では悲惨な争いがあとをたたず、加えて核兵器の存在は、世界の平和に深刻な脅威をもたらしています。

我が国は世界で唯一の被爆国であり、核兵器のすみやかな廃絶を強く訴えるとともに、戦争のない人類永久の平和が確立されることを願うものです。

平成23年3月の福島第一原子力発電所事故は、私たちに多くの教訓を残し、生活の豊かさ便利さを求めるあまり、自然に対する謙虚な姿勢を忘れ、科学技術を過信していたことに気づかされました。

自然の恵みに感謝し、地球環境に優しいエネルギーにより、穏やかで平和な暮らしが営める環境が創出されることを期待します。

私たちかすみがうら市民は、水と緑にはぐくまれた自然豊かな郷土を大切に守り、未来を担う子供たちと美しいふるさとのために、平和を願う地球上の人々と手を携え、世界の恒久平和を希求し、ここに「非核脱原発平和都市」を宣言します。

茨城県かすみがうら市議会